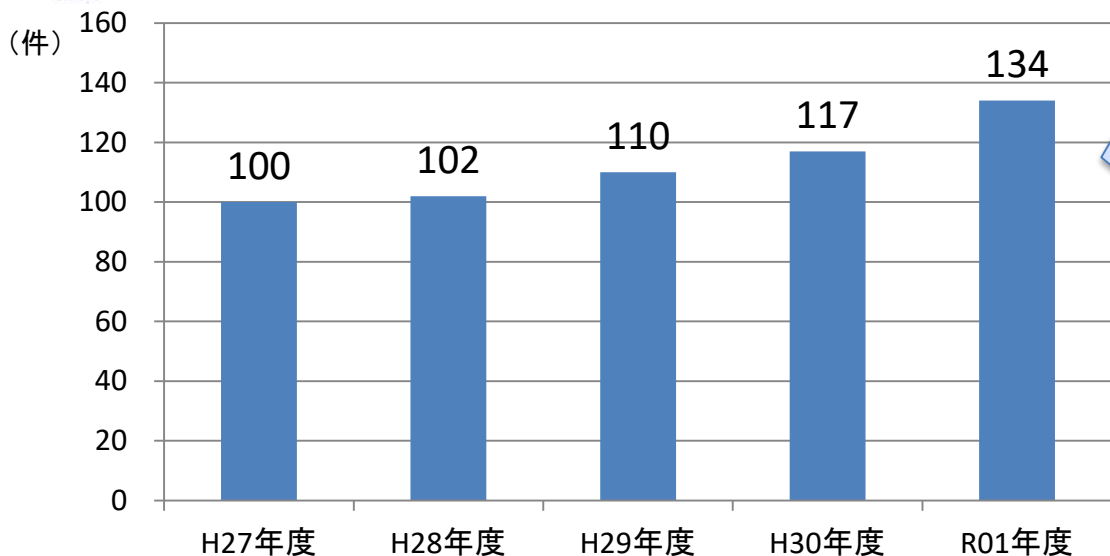


## 10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数

### ■ 解説: process指標

クリニカルパスとは、主に入院時に患者さんに手渡される病気を治すために必要な治療・検査やケアなどをタテ軸に、時間軸(日付)をヨコ軸に取って作った、診療スケジュール表のことです(日本クリニカルパス学会HP4より引用)。クリニカルパスは医療の標準化と医療の質と効率の向上を目指すものです。すべての疾患にパスは適用されませんが発生頻度が高い疾患に定型的な診療部分があればパスが開発・実施されることが多いようです。この項目は、その施設がどのくらい医療の標準化と医療の質の向上に取り組んでいるかを表す指標です。

### ■ 当院の実績



#### 《自己点検評価》

当院でのクリニカルパスへの取り組みは、平成15年度から始めており、紙媒体でのパス診療録から、現在では電子カルテに取込み、活用しています。また、クリニカルパス委員会も定例で開催し、新規パスの審査、既存パスのバリエーション評価、見直しと修正等により、実用化しています。

引き続き、委員会中心に、適用拡大とその適用率の向上を図り、医療の標準化と質向上に努めます。

### ■ 定義

1年間に10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数です。「10例以上」とは特異な事情(バリエーション)によるパスからの逸脱(ドロップアウト)を含み、当該年度内に適用された患者数とします。パスの数は1入院全体だけではなく、周術期等の一部分に適用するパスでも1件とします。

### ■ 算式: 10例以上の患者に適用されたパスの数

### ■ 令和元年度国立大学病院報告書: 中央値117.0